

平成29年度中川村普通会計決算状況

会計名	頁
一般会計	2～19
特別会計	
国民健康保険事業特別会計	20
介護保険事業特別会計	21
後期高齢者医療特別会計	22
公共下水道事業特別会計	23
農業集落排水事業特別会計	24

平成29年度 (2017) 一般会計決算報告書

決算収支の状況

(単位:千円)

区 分	平成29年度	平成28年度	対前年度 (増減率)
歳入総額 ①	3,899,758	3,598,745	301,013 (8.4%)
歳出総額 ②	3,672,429	3,357,512	314,917 (9.4%)
歳入歳出差引額 ①-② ③	227,329	241,233	△ 13,904 (△5.8%)
翌年度へ繰り越すべき財源 ④	2,250	5,789	△ 3,539 (△61.1%)
実質収支 ③-④ ⑤	225,079	235,444	△ 10,365 (△4.4%)
単年度収支 ⑥	△ 10,365	△ 109,066	98,701 (△90.5%)
積立金 ⑦	1,000	1,100	△ 100 (△9.1%)
繰上償還金 ⑧		133,528	△ 133,528 (△100.0%)
積立金取崩し額 ⑨			
実質単年度収支 ⑥+⑦+⑧-⑨ ⑩	△ 9,365	25,562	△ 34,927 (△136.6%)

(平成29年度地方財政状況調査)

(注)

- 1) 単年度収支⑥は、H29実質収支-H28実質収支
- 2) 積立金⑦及び積立金取崩し額⑨は、財政調整基金の額
- 3) 繰上償還額⑧は、繰上償還額のうち「任意に行ったもの」の額

中川村の平成29年度決算に基づく健全化判断比率

(地方公共団体の財政の健全化に関する法律第2条に基づく比率)

	実質赤字比率		連結実質赤字比率		実質公債費比率		将来負担比率	
	平成29年度	平成28年度	平成29年度	平成28年度	平成29年度	平成28年度	平成29年度	平成28年度
中川村	—	—	—	—	2.3	2.8	—	—
早期健全化基準	15.0		20.0		25.0		350.0	
財政再生基準	20.0		30.0		35.0			

(注)

- 1) 実質赤字比率は、一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率
- 2) 連結実質赤字比率は、全会計を対象とした実質赤字(又は資金の不足額)の標準財政規模に対する比率
- 3) 実質公債費比率は、一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率(3カ年平均)
- 4) 将来負担比率は、一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

歳 入 入 の 概 要

(単位:千円)

区 分	平成29年度			平成28年度			対前年度	
	決算額	うち経常一般財源	決算額 構成比	決算額	うち経常一般財源	決算額 構成比	増減額	増減率
1 村 税	469,280	469,280	12.0%	462,033	462,033	12.9%	7,247	1.6%
2 地 方 譲 与 税	50,092	50,092	1.3%	50,243	50,243	1.4%	△ 151	△ 0.3%
(1) 地方揮発油譲与税	14,514	14,514	0.4%	14,675	14,675	0.4%	△ 161	△ 1.1%
(2) 地方道路譲与税								
(3) 自動車重量譲与税	35,578	35,578	0.9%	35,568	35,568	1.0%	10	0.0%
3 利 子 割 交 付 金	856	856	0.0%	505	505	0.0%	351	69.5%
4 配 当 割 交 付 金	2,041	2,041	0.1%	1,555	1,555	0.0%	486	31.3%
5 株式等譲渡所得割交付金	2,209	2,209	0.1%	903	903	0.0%	1,306	144.6%
6 地 方 消 費 税 交 付 金	82,240	82,240	2.1%	80,005	80,005	2.2%	2,235	2.8%
7 自 動 車 取 得 税 交 付 金	12,832	12,832	0.3%	8,987	8,987	0.2%	3,845	42.8%
8 地 方 特 例 交 付 金	2,152	2,152	0.1%	1,785	1,785	0.0%	367	20.6%
9 地 方 交 付 税	1,767,325	1,663,527	45.3%	1,823,380	1,716,443	50.8%	△ 56,055	△ 3.1%
(1) 普 通 交 付 税	1,663,527	1,663,527	42.7%	1,716,443	1,716,443	47.8%	△ 52,916	△ 3.1%
(2) 特 別 交 付 税	103,798		2.7%	106,937		3.0%	△ 3,139	△ 2.9%
(3) 震 災 復 興 特 別 交 付 税								
10 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	515	515	0.0%	548	548	0.0%	△ 33	△ 6.0%
11 分 担 金 及 び 負 担 金	20,460	811	0.5%	16,087		0.4%	4,373	27.2%
12 使 用 料 及 び 手 数 料	83,373	55,799	2.1%	81,121	3,118	2.3%	2,252	2.8%
13 国 庫 支 出 金	203,510		5.2%	207,117		5.8%	△ 3,607	△ 1.7%
14 県 支 出 金	219,795		5.6%	215,707		6.0%	4,088	1.9%
15 財 産 収 入	7,272	6,176	0.2%	7,670	6,414	0.2%	△ 398	△ 5.2%
16 寄 附 金	2,438		0.1%	1,185		0.0%	1,253	105.7%
17 繰 入 金	144,000		3.7%	0			144,000	皆増
18 繰 越 金	241,233		6.2%	363,035		10.1%	△ 121,802	△ 33.6%
19 諸 収 入	57,385	9,639	1.5%	59,529	132	1.7%	△ 2,144	△ 3.6%
20 村 債 債	530,750		13.6%	217,350		6.0%	313,400	144.2%
うち臨時財政対策債								
合 計	3,899,758	2,358,169	100.0%	3,598,745	2,332,671	100.0%	301,013	8.4%

(平成29年度地方財政状況調査)

税 収 入 の 状 況

(単位:千円)

区分	科目別	調定済額		収入済額		徴収率		収入済額の対前年度増減率	〔参考〕人口1人当り額(円)			
		現年課税分	滞納繰越分	合計	現年課税分	滞納繰越分	合計		29年度	28年度	比較	中川村
1 村 民 税	税	198,913	2,249	201,162	197,626	918	198,544	98.7%	98.9%	△ 0.2%	39,957	43,507
	(1) 個人均等割	8,944	104	9,048	8,890	44	8,934	98.7%	98.8%	△ 0.1%	1,798	1,607
	(2) 所得割	177,342	2,045	179,387	176,280	874	177,154	98.8%	98.8%	0.0%	35,652	36,185
	((個人計))	(186,286)	(2,149)	(188,435)	(185,170)	(918)	(186,088)					
	(3) 法人均等割	9,090	100	9,190	8,940	0	8,940	97.3%	98.8%	△ 1.5%	1,799	2,603
普通税	(4) 法人税割	3,537	0	3,537	3,516	0	3,516	99.4%	100.0%	△ 0.6%	708	3,112
	((法人計))	(12,627)	(100)	(12,727)	(12,456)	(0)	(12,456)					
2 固定資産税	税	227,967	7,242	235,209	225,502	2,608	228,110	97.0%	96.7%	0.3%	45,906	62,401
	(1) 純固定資産税	222,005	7,242	229,247	219,540	2,608	222,148	96.9%	96.6%	0.3%	44,706	59,377
	了土地	42,050	2,679	44,729	41,281	813	42,094	94.1%	95.1%	△ 1.0%	8,471	9,617
	イ家屋	108,560	4,399	112,959	106,962	1,691	108,653	96.2%	95.8%	0.4%	21,866	21,206
	ウ償却資産	71,395	164	71,559	71,297	104	71,401	99.8%	99.1%	0.7%	14,369	28,554
3 軽自動車税	(2) 交付金・納付金	5,962		5,962	5,962		5,962	100.0%	100.0%	0.0%	1,200	3,024
	税	20,865	109	20,974	20,624	47	20,671	98.6%	99.5%	△ 0.9%	4,160	3,374
4 村たばこ税	税	21,474	0	21,474	21,474	0	21,474	100.0%	100.0%	0.0%	4,322	6,399
	入湯税	481		481	481		481	100.0%	100.0%	0.0%	97	1,202
5 国民健康保険税	合計	469,700	9,600	479,300	465,707	3,573	469,280	97.9%	97.9%	0.0%	94,442	116,883
	国民健康保険税	108,254	4,212	112,466	107,224	1,946	109,170	97.1%	95.7%	1.4%	-	-

(平成29年度地方財政状況調査)

【住民基本台帳搭載人口 H29.4.1現在 4,969 人】
【参考 平成28年度全国類団(I-0)数値の人口 H29.1.1現在 2,955 人】

歳 出 の 概 要

(単位:千円)

区 分	平成29年度				平成28年度				前年度対比	
	決算額	うち、 経常一般財源等	決算額 構成比	経常収支 比率	決算額	うち、 経常一般財源等	決算額 構成比	経常収支 比率	増減額	増減率
1 人件費	565,933	559,936	15.4%	22.2%	573,941	517,198	17.1%	22.6%	△ 8,008	△1.4%
2 物件費	519,517	264,857	14.1%	10.3%	472,427	240,760	14.1%	9.8%	47,090	10.0%
3 維持補修費	9,020	5,570	0.2%	0.2%	7,638	5,297	0.2%	0.2%	1,382	18.1%
4 扶助費	253,696	238,463	6.9%	3.4%	255,025	80,014	7.6%	3.3%	△ 1,329	△0.5%
5 補助費等	550,414	219,042	15.0%	8.5%	420,260	197,403	12.5%	9.2%	130,154	31.0%
内(1)一部事務組合に対するもの	134,091	131,592	3.7%	5.3%	133,876	122,776	4.0%	5.1%	215	0.2%
内(2)以外のもの	416,323	87,450	11.3%	3.2%	286,384	74,627	8.5%	4.1%	129,939	45.4%
6 公債費	372,069	372,069	10.1%	17.1%	532,966	399,438	15.9%	16.5%	△ 160,897	△30.2%
内(1)元利償還金	356,967	356,967	9.7%	16.3%	513,197	379,669	15.3%	15.4%	△ 156,230	△30.4%
内(イ)利子	15,100	15,100	0.4%	0.8%	19,765	19,765	0.6%	1.1%	△ 4,665	△23.6%
内(2)一時借入金	2	2	0.0%	0.0%	4	4	0.0%	0.0%	△ 2	△50.0%
7 積立金	193,541		5.3%		197,015		5.9%		△ 3,474	△1.8%
8 投資及び出資金					300				△ 300	皆減
9 貸付金										
10 繰出金	424,114	412,183	11.6%	16.9%	429,500	394,747	12.8%	17.0%	△ 5,386	△1.3%
11 投資的経費	784,125		21.4%		468,440		13.9%		315,685	67.4%
うち、人件費	17,313		0.5%		9,253		0.3%		8,060	87.1%
内(1)普通建設事業費	784,125		21.4%		459,931		13.6%		324,194	70.5%
うち単独事業費	648,410		17.7%		313,572		9.3%		334,838	106.8%
内(2)災害復旧事業費			0.0%		8,509		0.3%		△ 8,509	皆減
歳出合計	3,672,429	2,072,120	100.0%	78.7%	3,357,512	1,834,857	100.0%	78.6%	314,917	9.4%

(平成29年度地方財政状況調査)

人件費の内訳	金額	区分	金額
1 議員報酬手当	38,830	7 災害補償基金負担金	653
2 委員等報酬	26,330	8 職員互助会補助金	1,034
3 村長等特別職給与	28,500	9 その他	402
4 職員給	342,835	小計	565,933
5 共済組合負担金	79,865	事業費支弁人件費	17,313
6 退職手当負担金	47,484	合計	583,246

歳出の内訳及び財源内訳

(単位:千円)

性質別	目的別	議会費	総務費	民生費	衛生費	農林水産業費	商工費	土木費	消防費	教育費	公債費	災害復旧費	合計	決算額 構成比
		1 人件費	54,499	219,680	98,352	41,224	56,329	10,132	13,999	3,982	67,736			
うち職員給	13,099	112,200	81,274	34,760	43,944	8,490	9,542	0	39,526				342,835	9.3%
2 物件費	1,332	162,155	110,701	49,750	24,535	9,772	15,148	8,396	137,728				519,517	14.1%
3 維持補修費			565				4,616		3,839				9,020	0.2%
4 扶助費			249,795						3,901				253,696	6.9%
5 補助費等	220	237,071	27,271	58,564	118,567	13,066	3,662	79,663	12,330				550,414	15.0%
6 公債費											372,069		372,069	10.1%
7 積立金													193,541	5.3%
8 投資及び出資金													0	0.0%
9 貸付金														
10 繰出金			208,042			99,000		117,050					424,114	11.6%
11 投資的経費			74,962	13,817	1,005	61,580	12,434	558,413	23,081	38,833			784,125	21.4%
うち普通建設事業費			74,962	13,817	1,005	61,580	12,434	558,413	23,081	38,833			784,125	21.4%
うち災害復旧事業費													0	0.0%
歳出合計		56,051	887,431	708,543	150,543	360,011	45,404	712,888	115,122	264,367	372,069	0	3,672,429	100.0%
国庫支出金			38,130	130,817	783			27,508	5,386	411			203,035	475
県支出金			14,175	76,862	1,970	118,893		1,475		420			213,795	6,000
使用料・手数料			3,560	32,162	9,693	1	63	4,238		3,164			52,881	30,492
分・負担金、寄附金			610	5,106		2,800			1,388	410			10,314	12,584
財産収入			990	15	49			6					1,060	6,212
繰入金			144,000											
諸収入			20,652	3,102	1,686	19,682	783	13	6,099	4,280			56,297	1,088
繰越金													0	241,233
地方債			30,200	4,900		12,400		430,650	10,600	23,500			512,250	18,500
一般財源		56,051	635,114	455,579	136,362	206,235	44,558	248,998	91,649	232,182	372,069	0	2,622,797	△316,584
歳計剰余金														227,329
歳入合計		56,051	887,431	708,543	150,543	360,011	45,404	712,888	115,122	264,367	372,069	0	3,672,429	227,329
歳入振替項目														203,510
合計														219,795
特定財源内訳														83,373
財源内訳														22,898
														7,272

(平成29年度地方財政状況調査)

地 方 債 償 の 状 況

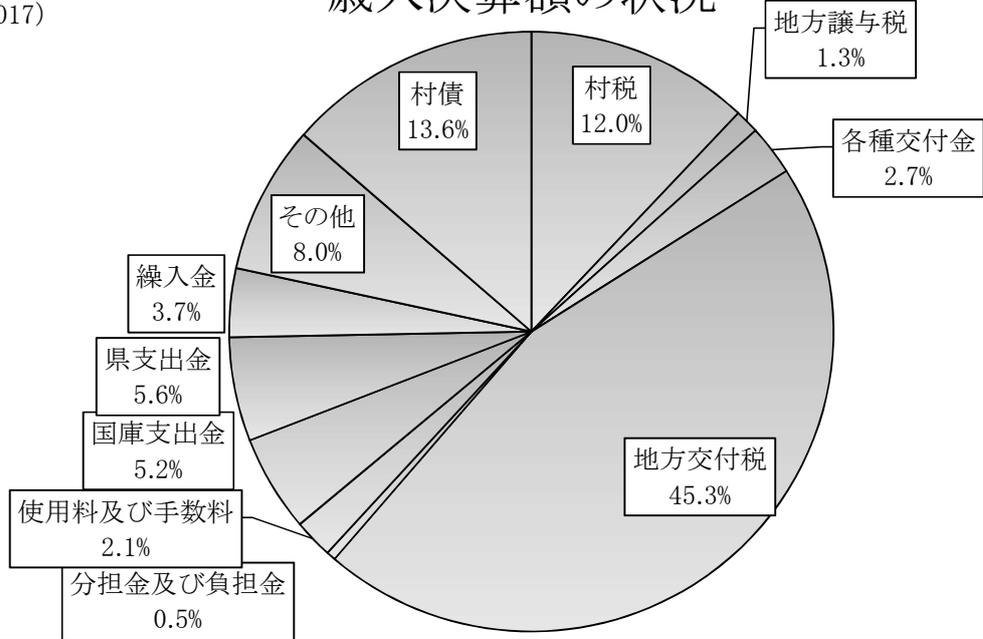
(単位:千円)

区 分	平成28年度末 現在高	平成29年度 発行額	平成29年度元利償還額			平成29年度末 現在高(A)	構成比	(A)の借入先内訳	
			元金	利子	計			政府資金	その他
1 公 共 事 業 等 債	61,997	2,100	3,821	302	4,123	60,276	2.1%	60,276	
2 災 害 復 旧 事 業 債	9,870	0	1,231	32	1,263	8,639	0.3%	8,639	
(1) 単 独 災 害 復 旧 事 業 債	3,636		373	9	382	3,263	0.1%	3,263	
(2) 補 助 災 害 復 旧 事 業 債	6,234		858	23	881	5,376	0.2%	5,376	
3 全 国 防 災 事 業 債	31,361		7,146	30	7,176	24,215	0.8%	24,215	
4 教 育 ・ 福 祉 施 設 等 整 備 事 業 債	64,942	36,000	15,846	232	16,078	85,096	2.9%	70,923	14,173
(1) 学 校 教 育 施 設 等 整 備 事 業 債	40,070		13,344	37		26,726	0.9%	26,726	
(2) 一 般 補 助 施 設 整 備 等 事 業 債	13,801	36,000	504	106	610	49,297	1.7%	44,197	5,100
(3) 施 設 整 備 事 業 債 (一 般 財 源 化 分)	11,071		1,998	89	2,087	9,073	0.3%		9,073
5 一 般 単 独 事 業 債	113,573	600	5,427	350	5,777	108,746	3.7%		108,746
うち 地 域 活 性 化 事 業 債	900				0	900	0.0%		900
うち 防 災 対 策 事 業 債	8,600				0	8,600	-		8,600
うち 臨 時 地 方 道 整 備 事 業 債	0		0		0	0	-		
うち 緊 急 防 災 ・ 減 災 事 業 債	97,993	600	4,699	258	4,957	93,894	3.2%		93,894
6 辺 地 対 策 事 業 債	180,271	52,900	24,476	711	25,187	208,695	7.1%	208,695	
7 過 疎 対 策 事 業 債	2,038,582	437,550	262,183	12,006	274,189	2,213,949	75.4%	2,189,137	24,812
8 国 の 予 算 貸 付 ・ 政 府 関 係 機 関 貸 付 債 (公 有 林 整 備 事 業 債)	31,040		3,354	497	3,851	27,686	0.9%		27,686
9 財 源 対 策 債	14,511	1,600	2,235	92	2,327	13,876	0.5%	13,876	
10 減 税 補 て ん 債	2,107		348	8	356	1,759	0.1%	1,759	
11 臨 時 財 政 対 策 債	213,097		30,900	840	31,740	182,197	6.2%	139,877	42,320
合 計	2,761,351	530,750	356,967	15,100	372,067	2,935,134	100.0%	2,717,397	217,737

(平成29年度地方財政状況調査)

平成29年度
(2017)

歳入決算額の状況



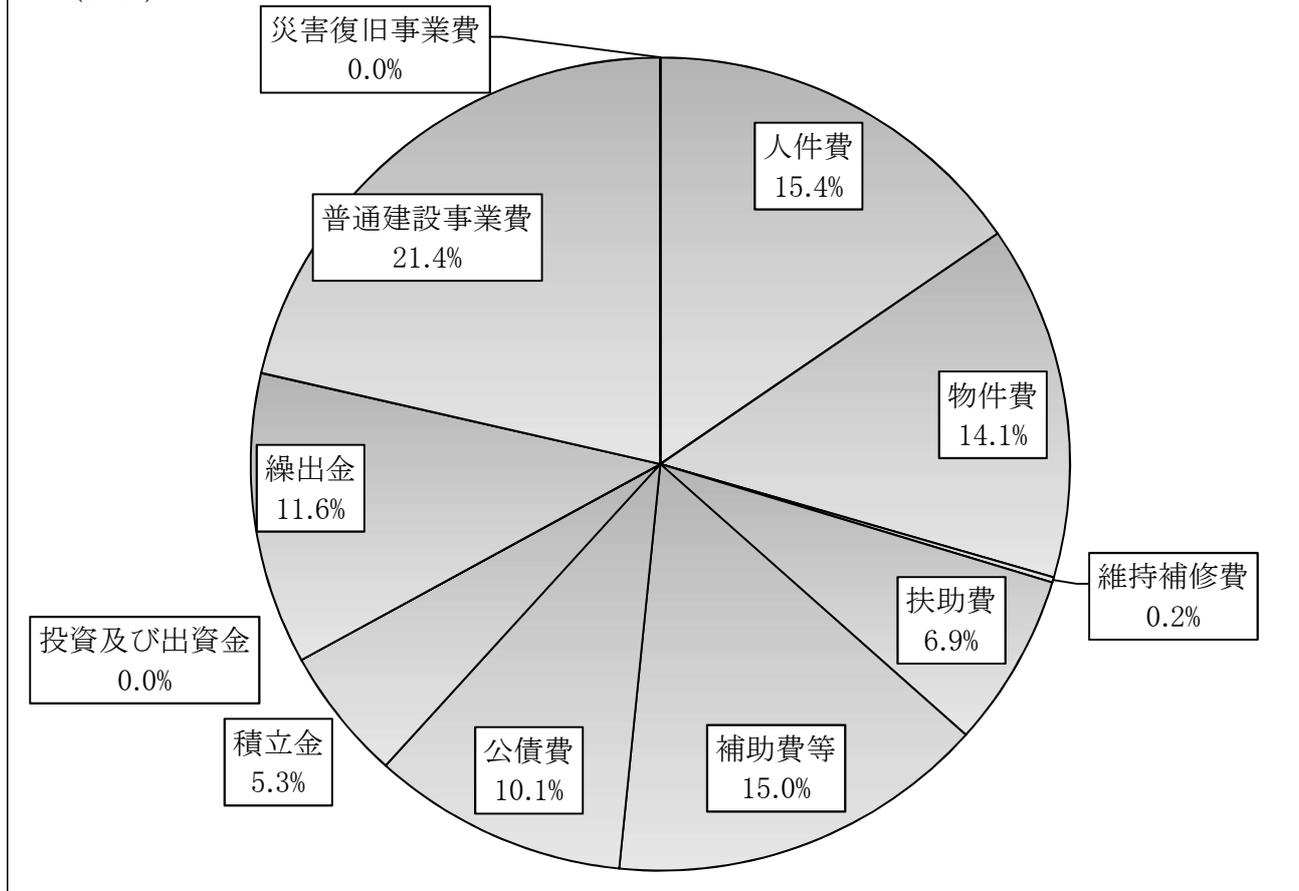
(単位:千円)

区 分	決算額	構成比	用語の説明
村 税	469,280	12.0%	村民税(個人・法人)・固定資産税・軽自動車税・村たばこ税・入湯税
地 方 譲 与 税	50,092	1.3%	国税として徴収され、地方公共団体に譲与される税金(所得譲与税・地方道路譲与税・自動車重量譲与税)
各 種 交 付 金	102,845	2.7%	
利子割交付金	856	0.0%	利子所得に対する課税(20%)のうち県民税利子割5%の59.4%が市町村に交付
配当割交付金	2,041	0.1%	配当所得に対する課税(20%)のうち県民税配当割5%の59.4%が市町村に交付
株式等譲渡所得割交付金	2,209	0.1%	特定株式等の譲渡所得に対する課税(20%)のうち県民税所得割5%の59.4%が市町村に交付
地方消費税交付金	82,240	2.1%	消費税8%のうち地方消費税(1.7%)の1/2が、人口・従業者比で市町村に交付
自動車取得税交付金	12,832	0.3%	自動車取得税のうち66.5%が、市町村の道路延長・面積比按分で交付
地方特例交付金	2,152	0.1%	H11からの恒久減税の補てん措置(減税補てん特例交付金)廃止に伴う経過措置としての特別交付金及びH18,H19の児童手当拡充に伴う地方負担補てん措置(児童手当特例交付金)
交通安全対策特別交付金	515	0.0%	道路安全施設に要する経費に充てるため、交通反則金の1/3が交付
地 方 交 付 税	1,767,325	45.3%	地方公共団体間の財政の不均衡を調整し、どの地域に住む国民にも一定の行政サービスを提供できるよう財源を補償するため国から交付
普通交付税	1,663,527	42.7%	基準財政需要額－基準財政収入額＝財源不足額(交付基準額)
特別交付税(震災復興分含)	103,798	2.7%	普通交付税で捕捉されない特別の財政需要(震災復興含)に対し交付
分 担 金 及 び 負 担 金	20,460	0.5%	事業を行うことにより利益を受ける人が負担するもの(農地事業分担金・福祉事業利用負担金等)
使 用 料 及 び 手 数 料	83,373	2.1%	公営住宅の住宅料、保育料や体育施設など公共施設の使用料 戸籍・住民票などの交付手数料〔※保育料は予算・決算では負担金〕
国 庫 支 出 金	203,510	5.2%	特定の事業に対し国からの給付金(負担金・補助金・委託金)
県 支 出 金	219,795	5.6%	特定の事業に対し県からの給付金(負担金・補助金・委託金)
繰 入 金	144,000	3.7%	特別会計、基金から一般会計への繰入
そ の 他	308,328	8.0%	
財 産 収 入	7,272	0.2%	公有財産のうち行政財産を除いた財産の貸付、出資、交換又は売却などにより生じた収入
寄 附 金	2,438	0.1%	
繰 越 金	241,233	6.2%	前年度の決算上の余剰金を受け入れるものをいう
諸 収 入	57,385	1.5%	他の歳入科目に組み入れることのできない収入(延滞金、加算金、貸付金返済金、預金利子・雑入など)
村 債	530,750	13.6%	事業を行うための借入金
合 計	3,899,758	100.0%	

(平成29年度地方財政状況調査)

平成29年度
(2017)

性質別歳出決算額の状況



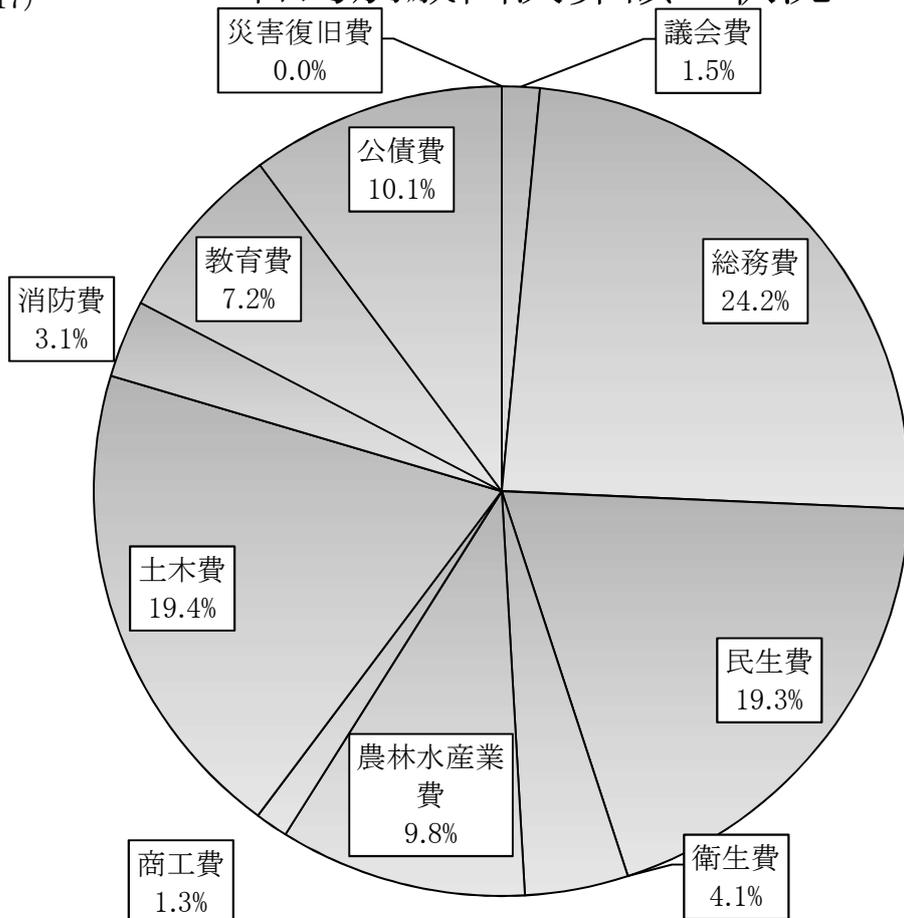
(単位:千円)

区 分	決算額	構成比	用語の説明
人 件 費	565,933	15.4%	議員報酬・特別職給与・職員給与・委員等報酬・共済費・退職負担金・互助会補助金など
物 件 費	519,517	14.1%	賃金・旅費・交際費・需用費(維持補修費を除く)・役務費・備品購入費・委託料・使用料・賃借料・原材料費など
維 持 補 修 費	9,020	0.2%	村が管理する公共用または公共施設等における維持や補修にかかる経費
扶 助 費	253,696	6.9%	社会保障制度の一環として現金や物品などを支給する費用
補 助 費 等	550,414	15.0%	負担金・補助及び交付金、報償費、火災・自動車損害保険料、寄付金、公課費など
公 債 費	372,069	10.1%	事業を行うための借入金の返済金や利子
積 立 金	193,541	5.3%	基金等に積み立てた費用
投 資 及 び 出 資 金	0	0.0%	資金運用のための投資または、公益上必要な共同事業への投資及び出資
繰 出 金	424,114	11.6%	一般会計から特別会計等に繰出した費用
投 資 的 経 費	784,125	21.4%	社会資本の整備に要する経費 (普通建設費、災害復旧費)
普通建設事業費	784,125	21.4%	道路、学校、公営住宅などの新築・改築・改良などの建設事業に要する費用(工事費の他、設計委託料、事務費、人件費等も含む)
災害復旧事業費	0	0.0%	災害復旧に要する費用 (道路、河川、農地、農業用施設、林道など)
合 計	3,672,429	100.0%	

(平成29年度地方財政状況調査)

平成29年度
(2017)

目的別歳出決算額の状況



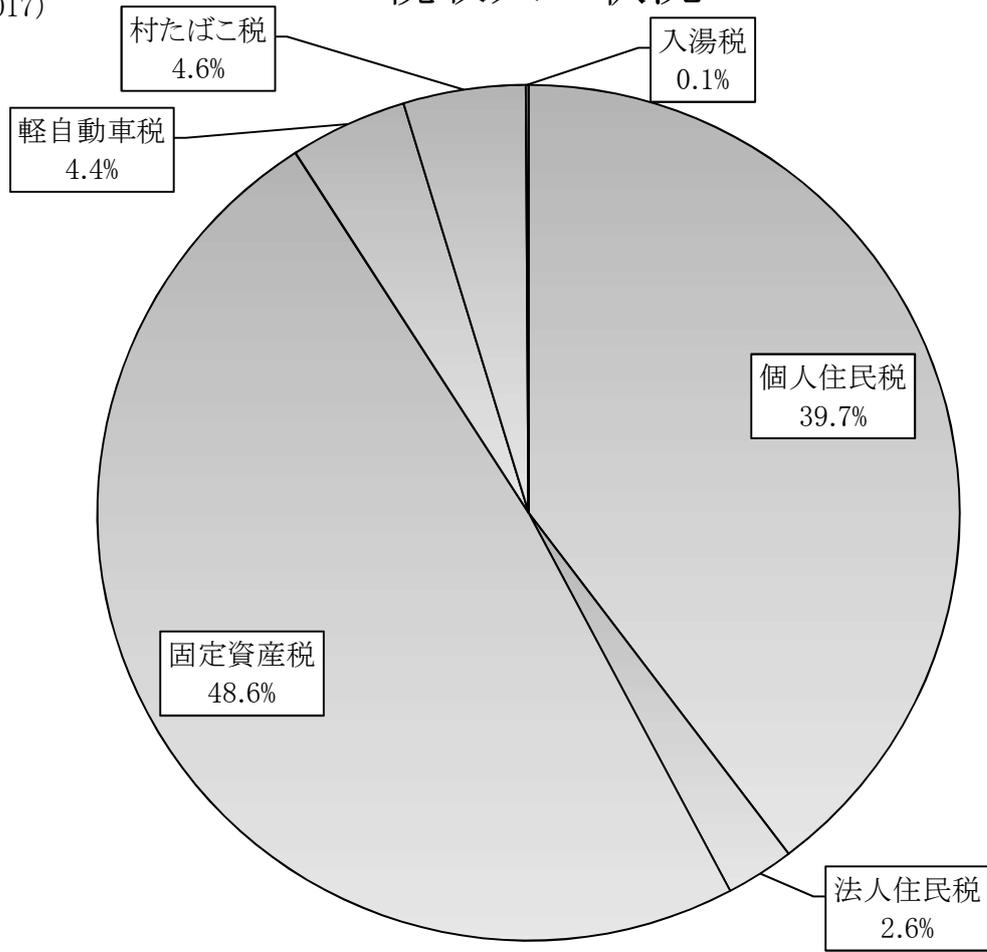
(単位:千円)

区 分	決算額	構成比	用語の説明
議 会 費	56,051	1.5%	議会の活動に要する経費
総 務 費	887,431	24.2%	村の全般的な管理、企画、財政、徴税、選挙、戸籍・住民票事務、統計、交通安全、防犯、防災などの経費
民 生 費	708,543	19.3%	高齢者・児童・障害者の福祉や生活保護、福祉医療、国民年金などの経費(国保・老人・介護保険特別会計への支出も含む)
衛 生 費	150,543	4.1%	成人老人保健、母子保健、ごみ処理、環境保全などの経費
農林水産業費	360,011	9.8%	農業・林業の振興に要する経費 (農集排特別会計への支出も含む)
商 工 費	45,404	1.3%	商工業振興、観光事業に要する経費
土 木 費	712,888	19.4%	道路・公園・村営住宅などの事業に要する経費 (公共下水道特別会計への支出も含む)
消 防 費	115,122	3.1%	消防(常備消防・非常備消防)に要する経費
教 育 費	264,367	7.2%	学校教育、社会教育、社会体育に要する経費
公 債 費	372,069	10.1%	借り入れた村債の元金・利子などの償還金
災 害 復 旧 費	0	0.0%	災害復旧に要する経費
合 計	3,672,429	100.0%	

(平成29年度地方財政状況調査)

平成29年度
(2017)

税収入の状況



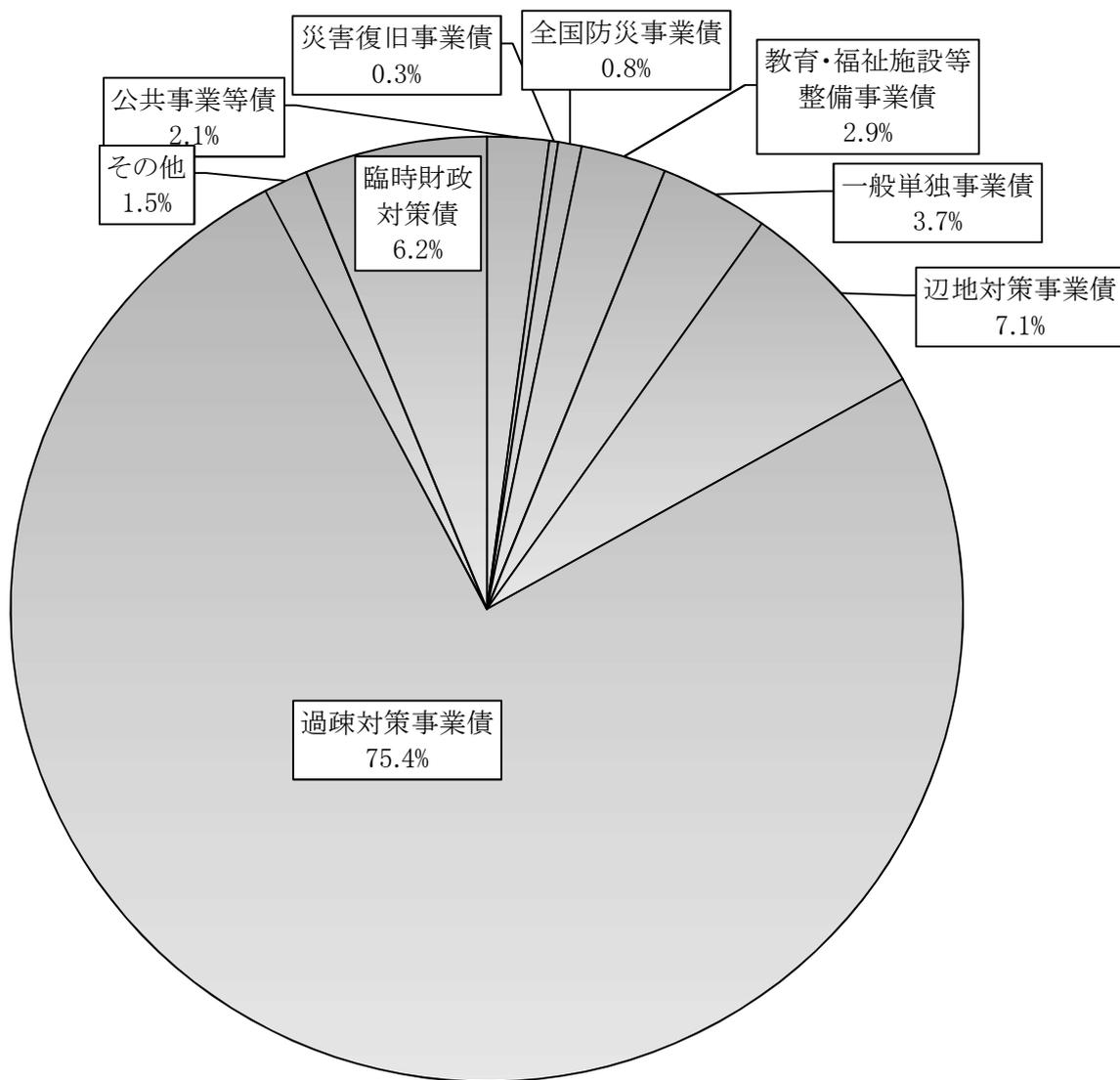
(単位:千円)

税目	決算額	構成比	備考
村民税	198,544	42.3%	
個人均等割	8,934	1.9%	
所得割 (個人計)	177,154 (186,088)	37.8% (39.7%)	
法人均等割	8,940	1.9%	
法人税割 (法人計)	3,516 (12,456)	0.7% (2.6%)	
固定資産税	228,110	48.6%	
純固定資産税	222,148	47.3%	土地・家屋・償却資産
国有資産等所在市町村 交付金	5,962	1.3%	交付金(国交省・森林管理局・県企業局) 納付金(日本郵政公社)
軽自動車税	20,671	4.4%	
村たばこ税	21,474	4.6%	
入湯税	481	0.1%	
合計	469,280	100.0%	

(平成29年度地方財政状況調査)

平成29年度
(2017)

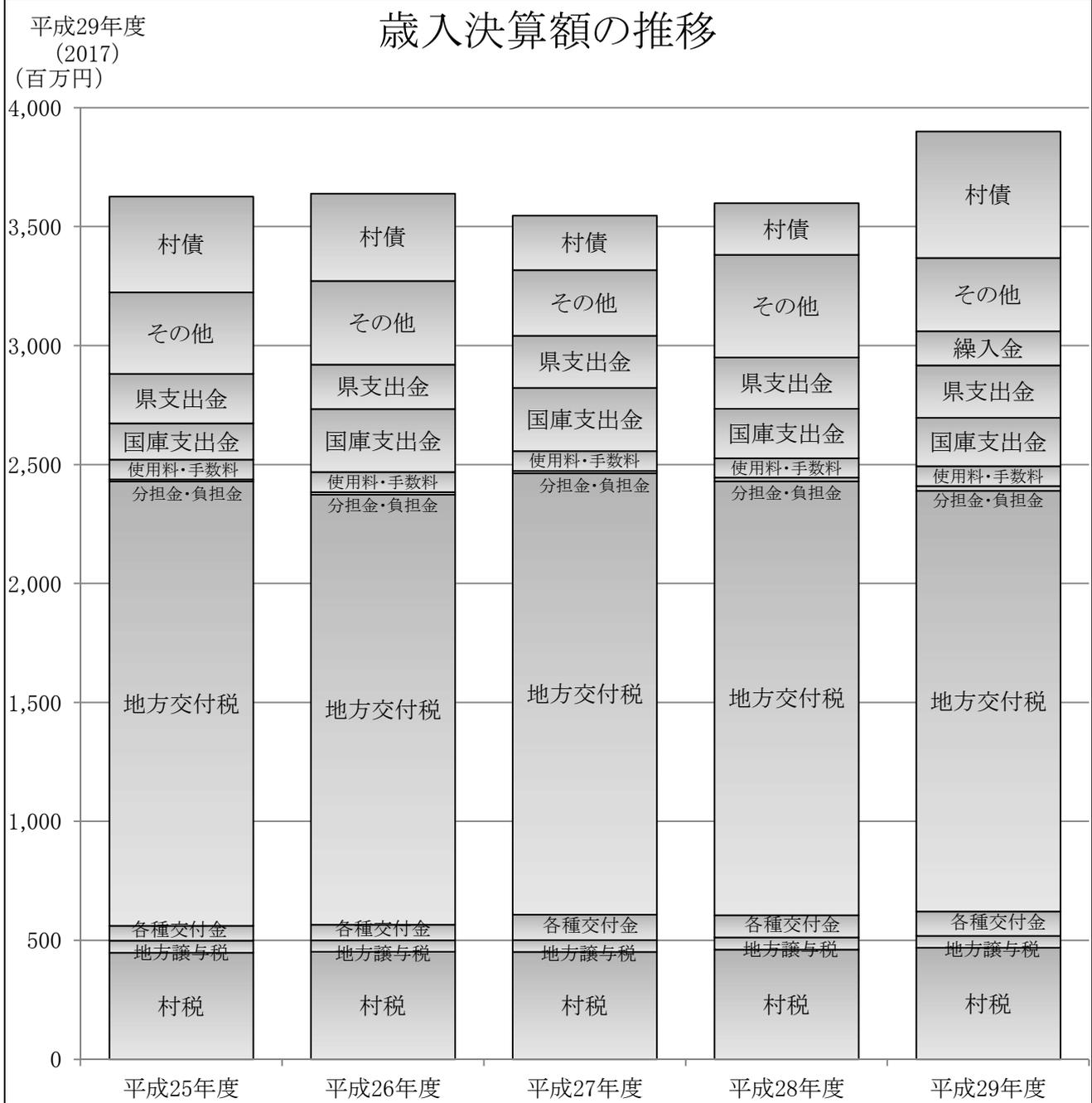
地方債事業別現在高の状況(一般会計)



(単位:千円)

区 分	現在高	構成比	区 分	現在高	構成比	
公 共 事 業 等 債	60,276	2.1%	そ の 他	43,321	1.5%	
災 害 復 旧 事 業 債	8,639	0.3%		国の子算貸付・政府関係機関貸付債(公有林整備事業債)	27,686	0.9%
全 国 防 災 事 業 債	24,215	0.8%		財 源 対 策 債	13,876	0.5%
教 育 ・ 福 祉 施 設 等 整 備 事 業 債	85,096	2.9%		減 税 補 て ん 債	1,759	0.1%
一 般 単 独 事 業 債	108,746	3.7%	臨 時 財 政 対 策 債	182,197	6.2%	
辺 地 対 策 事 業 債	208,695	7.1%	合 計	2,935,134	100.0%	
過 疎 対 策 事 業 債	2,213,949	75.4%				

(平成29年度地方財政状況調査)



(単位:千円・%)

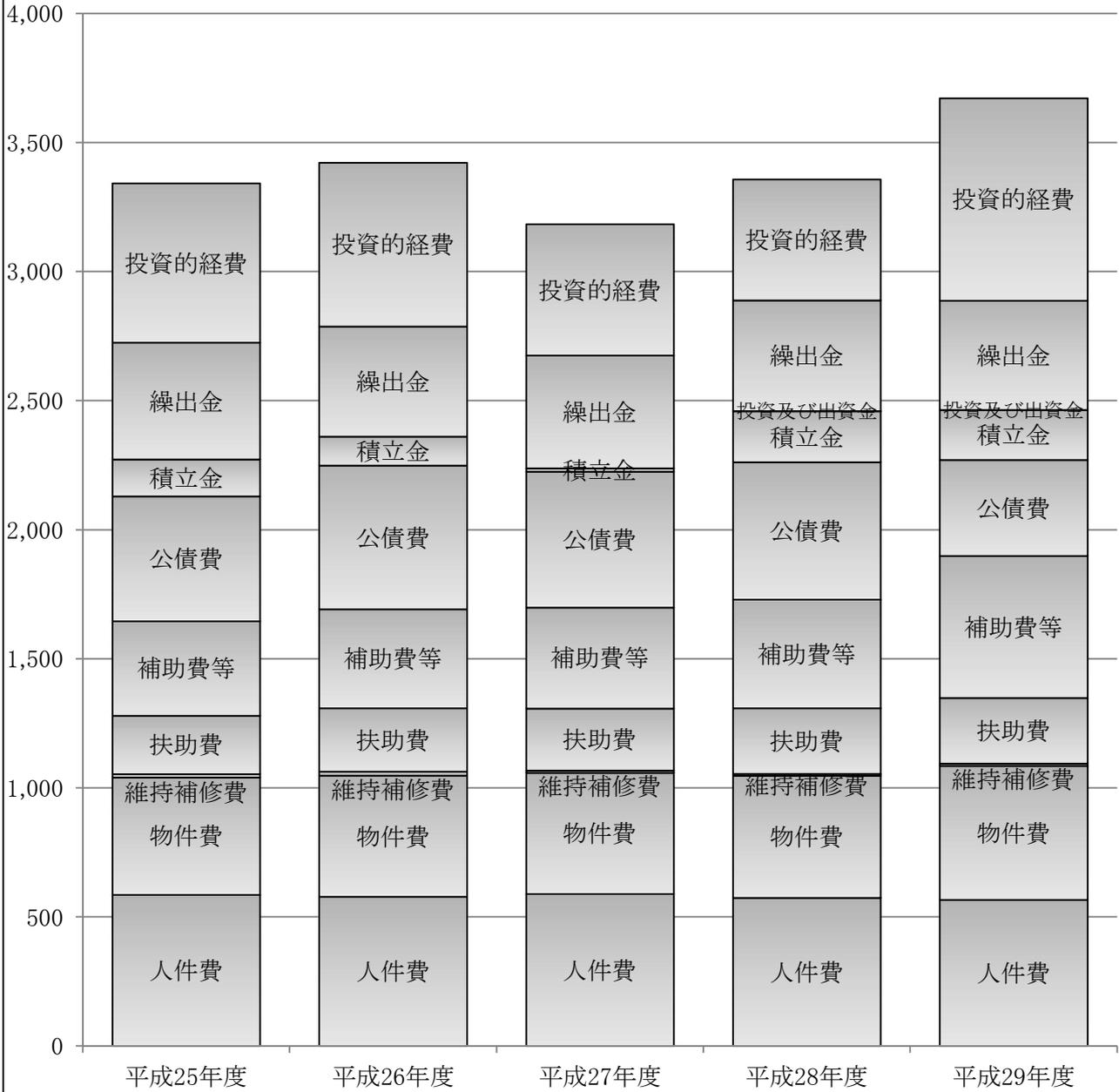
区 分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		(対前年比)								
村 税	447,930	△ 2.6	452,187	1.0	451,333	△ 0.2	462,033	2.4	469,280	1.6
地 方 譲 与 税	50,954	△ 5.2	48,527	△ 4.8	50,671	4.4	50,243	△ 0.8	50,092	△ 0.3
各 種 交 付 金	62,662	△ 9.8	65,529	4.6	106,627	62.7	94,288	△ 11.6	102,845	9.1
地 方 交 付 税	1,866,748	△ 1.4	1,807,102	△ 3.2	1,854,522	2.6	1,823,380	△ 1.7	1,767,325	△ 3.1
分 担 金 及 び 負 担 金	9,460	△ 23.3	11,151	17.9	10,719	△ 3.9	16,087	50.1	20,460	27.2
使 用 料 及 び 手 数 料	83,191	6.2	84,198	1.2	82,388	△ 2.1	81,121	△ 1.5	83,373	2.8
国 庫 支 出 金	152,588	△ 11.0	264,560	73.4	266,059	0.6	207,117	△ 22.2	203,510	△ 1.7
県 支 出 金	207,820	△ 40.2	187,373	△ 9.8	219,279	17.0	215,707	△ 1.6	219,795	1.9
繰 入 金	0	△ 81.1	0	皆減					144,000	皆増
そ の 他	342,117	11.4	351,173	2.6	275,651	△ 21.5	431,419	56.5	308,328	△ 28.5
村 債	402,700	△ 12.0	367,300	△ 8.8	229,300	△ 37.6	217,350	△ 5.2	530,750	144.2
合 計	3,626,170	△ 6.9	3,639,100	0.4	3,546,549	△ 2.5	3,598,745	1.5	3,899,758	8.4

(平成29年度地方財政状況調査)

平成29年度
(2017)

性質別歳出決算額の推移

(百万円)



(単位:千円・%)

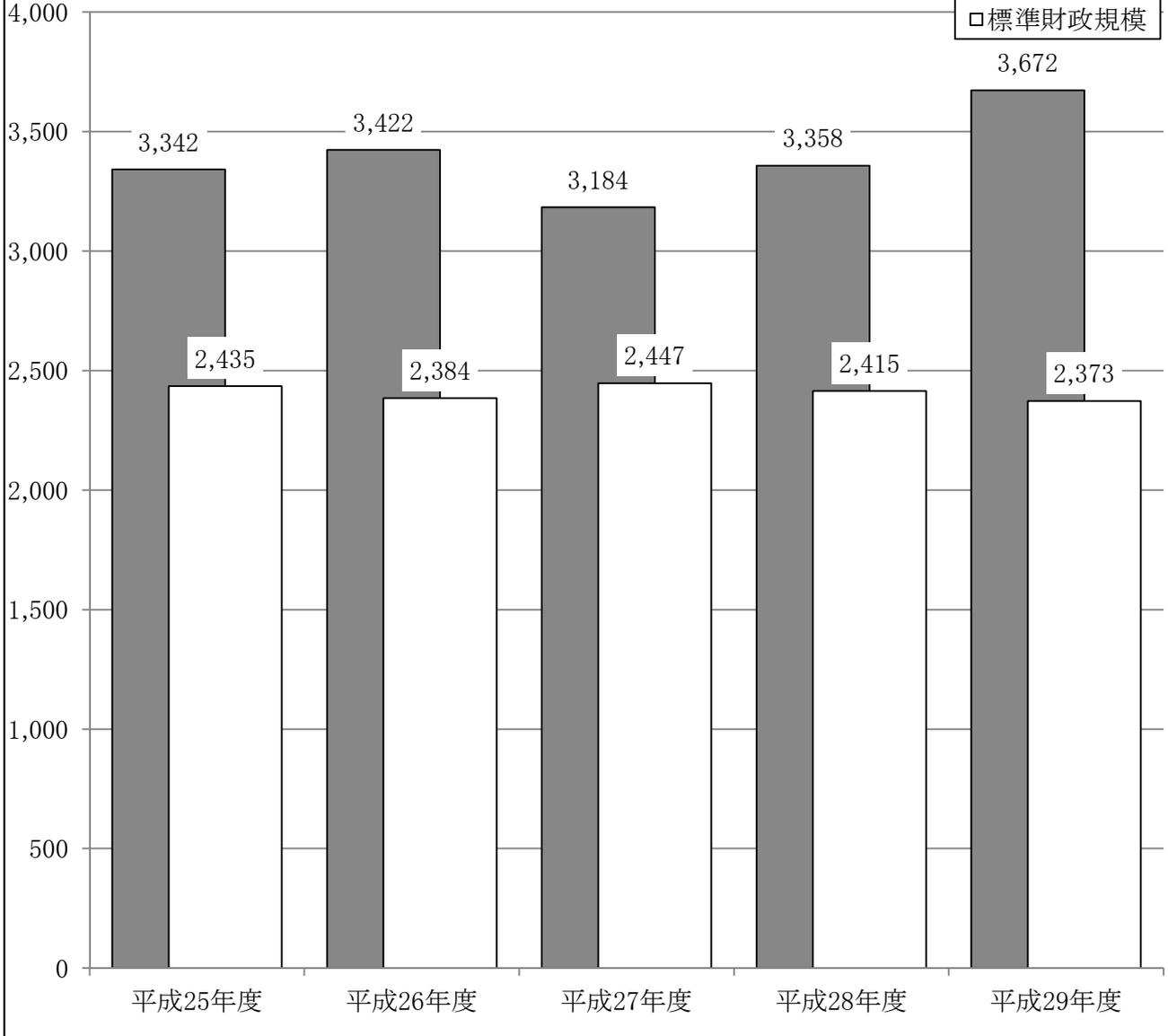
区 分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		(対前年比)		(対前年比)		(対前年比)		(対前年比)		(対前年比)
人 件 費	585,439	△ 0.5	577,741	△ 1.3	588,690	1.9	573,941	△ 2.5	565,933	△ 1.4
物 件 費	455,021	2.8	469,732	3.2	469,875	0.0	472,427	0.5	519,517	10.0
維持補修費	13,263	2.7	15,613	17.7	8,959	△ 42.6	7,638	△ 14.7	9,020	18.1
扶 助 費	225,888	△ 0.6	245,578	8.7	240,138	△ 2.2	255,025	6.2	253,696	△ 0.5
補 助 費 等	366,037	△ 0.9	383,066	4.7	391,022	2.1	420,260	7.5	550,414	31.0
公 債 費	483,928	△ 10.2	556,832	15.1	526,372	△ 5.5	532,966	1.3	372,069	△ 30.2
積 立 金	142,756	50.6	112,867	△ 20.9	13,039	△ 88.4	197,015	1,411.0	193,541	△ 1.8
投資及び出資金							300	皆増	0	皆減
繰 出 金	452,298	△ 5.1	425,790	△ 5.9	437,629	2.8	429,500	△ 1.9	424,114	△ 1.3
投資的経費	617,270	△ 26.4	635,167	2.9	507,790	△ 20.1	468,440	△ 7.7	784,125	67.4
合 計	3,341,900	△ 7.4	3,422,386	2.4	3,183,514	△ 7.0	3,357,512	5.5	3,672,429	9.4

(平成29年度地方財政状況調査)

平成29年度
(2017)

歳出決算額及び標準財政規模の推移

(百万円)



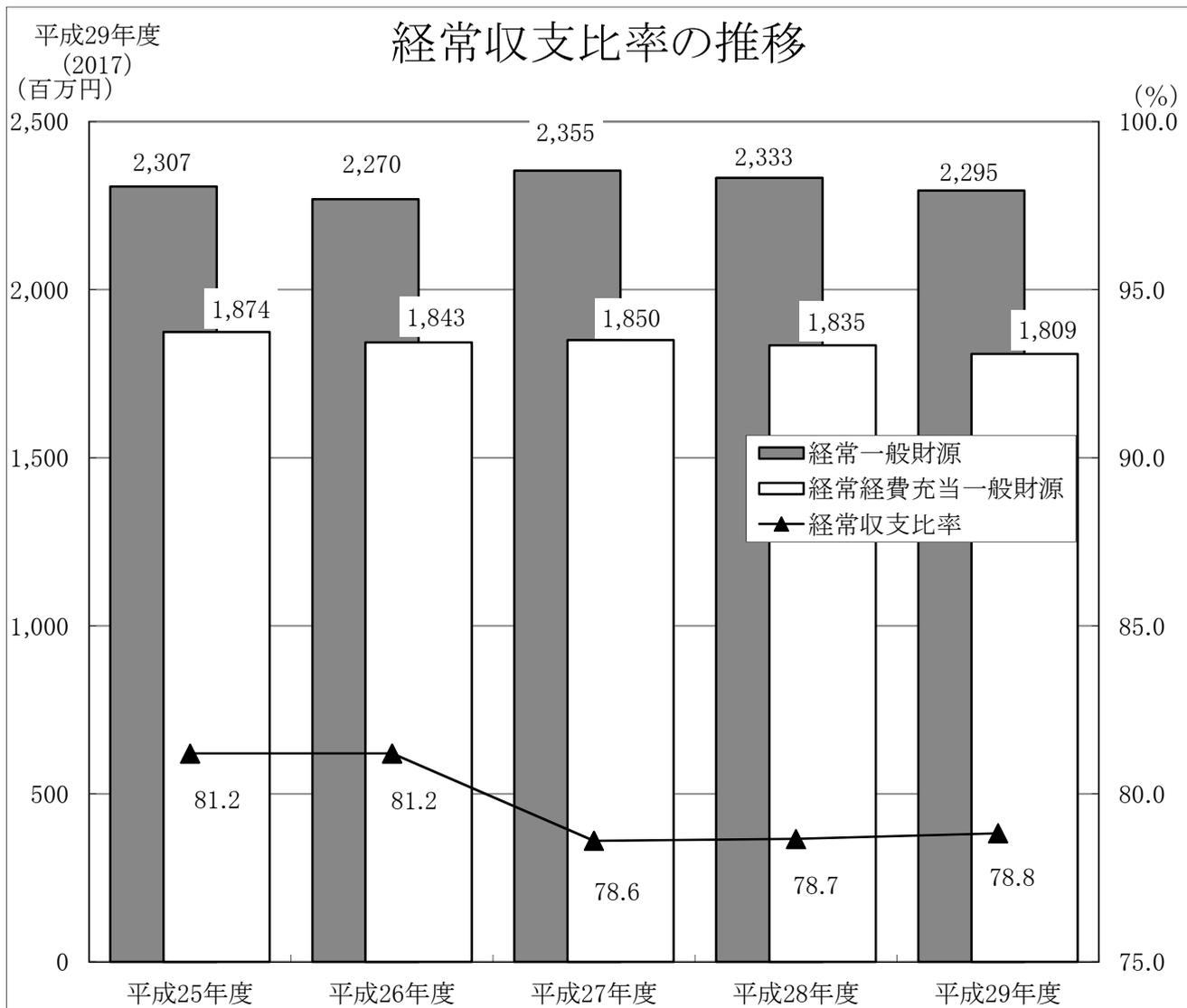
(単位:千円・%)

区 分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	対前年比
歳出決算額	3,341,900	3,422,386	3,183,514	3,357,512	3,672,429	9.4
標準財政規模	2,435,226	2,383,927	2,447,240	2,414,842	2,372,612	△ 1.7

(平成29年度地方財政状況調査)

$$\text{標準財政規模} = \underbrace{\left(\frac{\text{地方道路譲与税} + \text{自動車重量譲与税} + \text{交安対策特別交付金等}}{75} \right)}_{\text{標準税収入額等}} \times \frac{100}{75} + \text{地方道路譲与税} + \text{自動車重量譲与税} + \text{普通交付税} + \text{交安対策特別交付金等}$$

〔標準財政規模〕 地方公共団体の一般財源の標準規模を示すもの。
(標準的な行政活動を行うために必要な経費に見合う標準的な財源(経常的一般財源)の総額)



(単位:千円・%)

区 分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	対前年比
経常一般財源等	2,306,802	2,269,501	2,354,554	2,332,671	2,294,917	△ 1.6
経常的経費充当一般財源	1,873,741	1,843,199	1,850,087	1,834,857	1,809,033	△ 1.4
経常収支比率	81.2	81.2	78.6	78.7	78.8	0.2

(平成29年度地方財政状況調査)

$$\text{経常収支比率} = \frac{\text{経常的経費充当一般財源額(支出)}}{\text{経常一般財源総額(収入) + 減税補てん債 + 臨時財政対策債}} \times 100$$

※平成13年度から算定方式が変わり、算式の分母に減税補てん債及び臨時財政対策債(臨時的収入)が加算された。

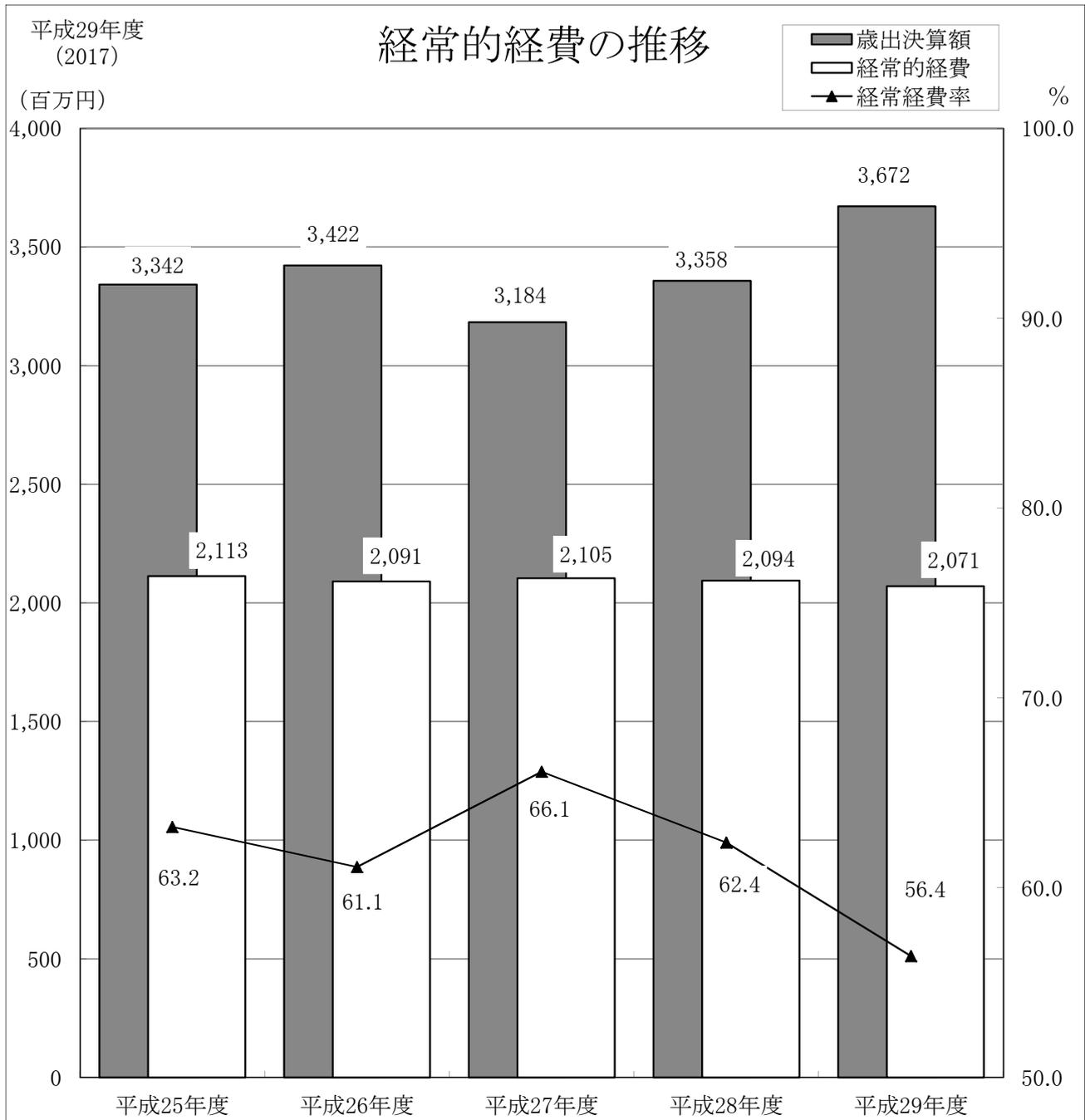
[経常収支比率]

人件費・扶助費・公債費などの経常的経費に充当された一般財源の額(※1)が、地方税・地方交付税など毎年連続して収入となる経常一般財源(※2)、減税補てん債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合であり、財政構造の弾力性を測定する最も一般的な指標である。

この率が低いほど、普通建設費等の臨時的経費に充当できる一般財源があり、財政構造が弾力性に富んでいることとなる。一般的には市80%、町村は75%を超えた場合、財政構造の硬直化が進んでいるといわれ、その原因を分析し経常経費の抑制を図る必要がある。

※経常的経費充当一般財源 = 人件費・物件費・維持補修費・扶助費・補助費・公債費のうち臨時的なものを控除した額

※経常一般財源 = 普通税・地方譲与税・普通交付税・自動車取得税交付金・交通安全対策特別交付金等及び経常的な収入の使用料手数料・財産収入・諸収入等の一般財源



(単位:千円・%)

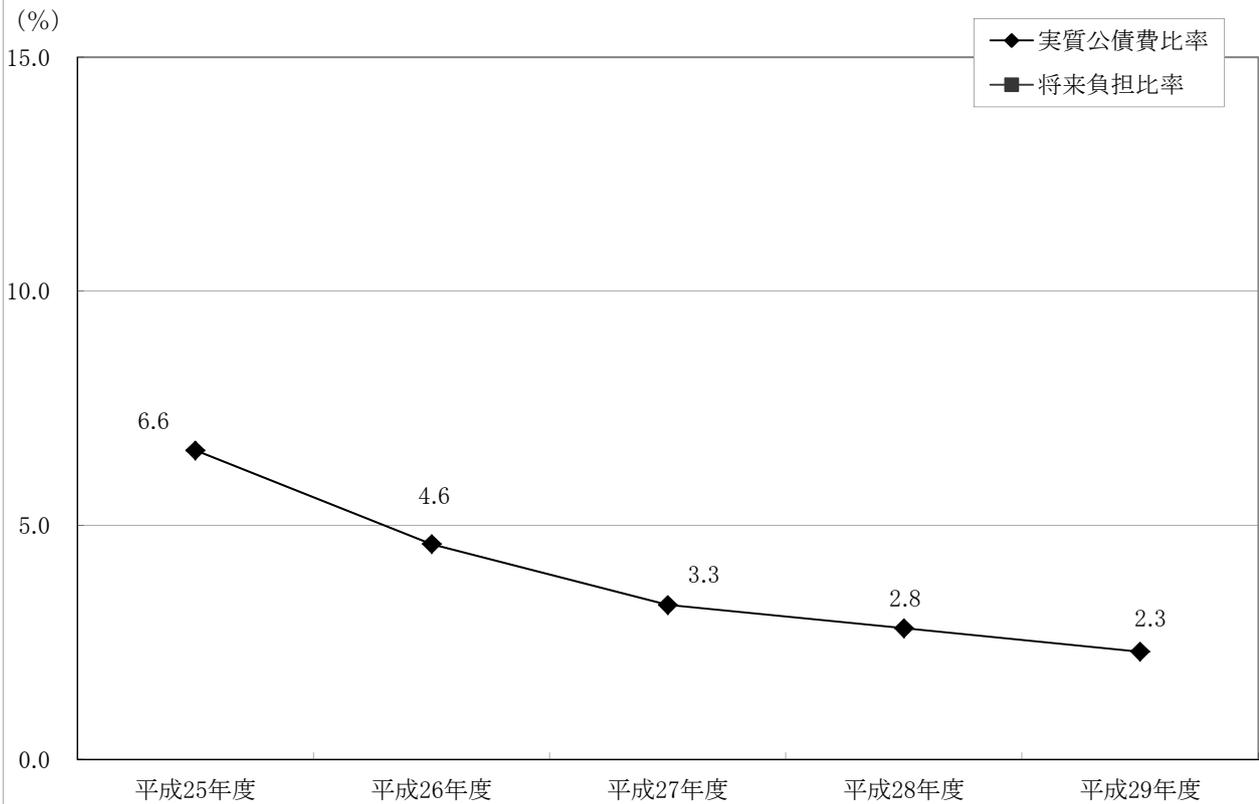
区 分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	対前年比
歳出決算額	3,341,900	3,422,386	3,183,514	3,357,512	3,672,429	9.4
経常的経費	2,113,120	2,091,353	2,104,687	2,094,327	2,071,120	△ 1.1
経常経費率	63.2	61.1	66.1	62.4	56.4	△ 6.0

(平成29年度地方財政状況調査)

〔経常的経費〕 地方公共団体において、毎年度、持続的かつ固定的に支出される経費のことをいい、通常、人件費・物件費・維持補修費・扶助費・補助費等・公債費をいう。

平成29年度
(2017)

実質公債費比率・将来負担比率の推移



(単位: %)

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	対前年比
実質公債費比率	6.6	4.6	3.3	2.8	2.3	△ 0.5
将来負担比率	-	-	-	-	-	-

(平成29年度健全化判断比率)

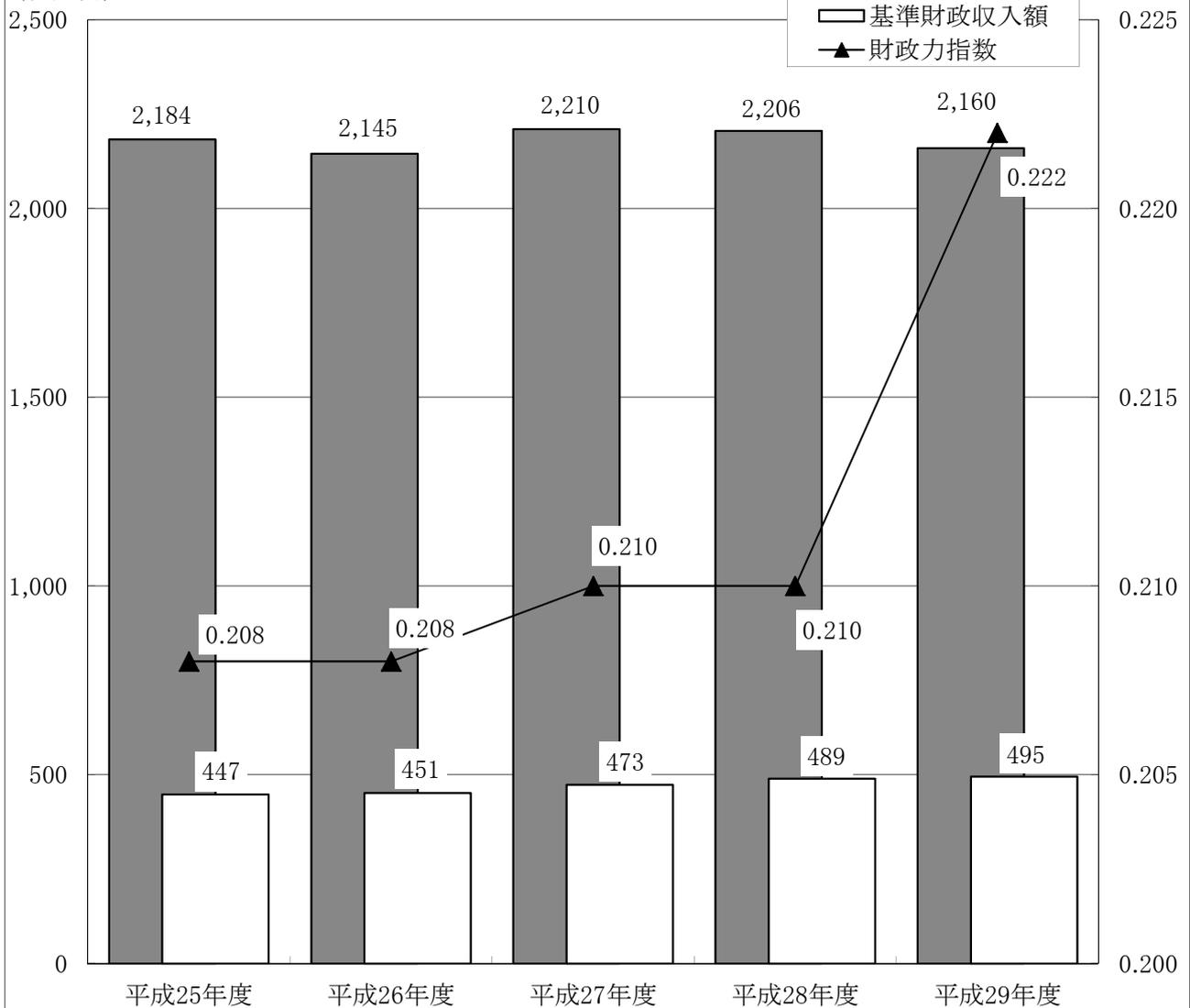
$\text{実質公債費比率} = \frac{\text{元利償還金} + \text{準元利償還金} - \text{特定財源} - \frac{\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額}}{\text{標準財政規模} - \frac{\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額}}}{\text{標準財政規模} - \frac{\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額}}$
<p>[実質公債費比率]</p> <p>「元利償還金の水準」を測る指標で、市場の信頼や公平性の確保、透明化、明確化の観点から、現行の起債制限比率に、公営企業への公債費返済のための一般会計からの繰出金、一部事務組合の負担金等のうち公債費相当額などを加えた指標(H17地方財政状況調査から創設)、上記算式による過去3ヶ年の平均をいう。</p> <p>18%を超えると起債借入に許可が必要となり(起債の借入は、H18から協議制度となった。)、25%を超えると単独事業の起債が基本的にできなくなる。</p>
<p>※ 準元利償還金 = 公営企業債の償還に充てたと認められる繰入金、一部事務組合等の地方債の元利償還金に対する負担金等、債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準じるもの</p> <p>※ 標準財政規模 = 標準税収入額 + 普通交付税の額</p>

$\text{将来負担比率} = \frac{\text{将来負担額} - \text{充当可能基金額} - \text{特定財源見込額} - \frac{\text{地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額}}{\text{標準財政規模} - \frac{\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額}}}{\text{標準財政規模} - \frac{\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額}}$
<p>[将来負担比率]</p> <p>一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率であり、これらの負債が将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示すストック指標。</p> <p>この比率が高い場合、将来これらの負担額を実際に支払う必要があることから、今後の財政運営が圧迫されるなどの問題が生じる可能性が高くなる。</p>
<p>※ 将来負担額 = 地方債現在高、債務負担行為支出予定額、公営企業債等繰入見込額、組合等負担等見込額、退職手当負担見込額、設立法人の負債額等負担見込額、連結実質赤字額、組合等連結実質赤字額負担見込額</p>

平成29年度
(2017)

財政力指数の推移

(百万円)



(単位:千円・%)

区分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	
基準財政需要額	2,183,532	1.4	2,145,177	△ 1.8	2,210,191	3.0	2,205,631	△ 0.2	2,160,039	△ 2.1
基準財政収入額	447,299	0.1	451,357	0.9	473,434	4.9	489,122	3.3	494,808	1.2
普通交付税決定額	1,736,233	1.8	1,693,820	△ 2.4	1,736,757	2.5	1,716,443	△ 1.2	1,663,527	△ 3.1
財政力指数	0.208		0.208		0.210		0.210		0.222	

(平成29年度地方財政状況調査)

〔基準財政需要額〕 普通交付税の算定の基礎となるもので、各地方公共団体が合理的で妥当な水準の行政サービス等を実施し、または施設を維持するために必要と想定される財政需要を、一定の算式により算定した額をいう。

〔基準財政収入額〕 普通交付税の算定の基礎となるもので、各地方公共団体の財政力を合理的に測定するために、標準的な状態において徴収が見込まれる税収入を一定の算式により算定した額をいう。

〔普通交付税決定額〕 (基準財政需要額－臨時財政対策債振替相当額＋錯誤措置額)－(基準財政収入額＋錯誤措置額)

〔財政力指数〕 地方公共団体の財政力を示す指標であり、地方交付税法の規定により算出した基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値をいう。
「1」に近くあるいは「1」を超えるほど財源に余裕があるものとされ、「1」を超えると普通交付税の不交付団体となる。

平成29年度 国民健康保険事業特別会計決算

歳入総額	563,138	千円
歳出総額	549,720	千円
差引額	13,418	千円

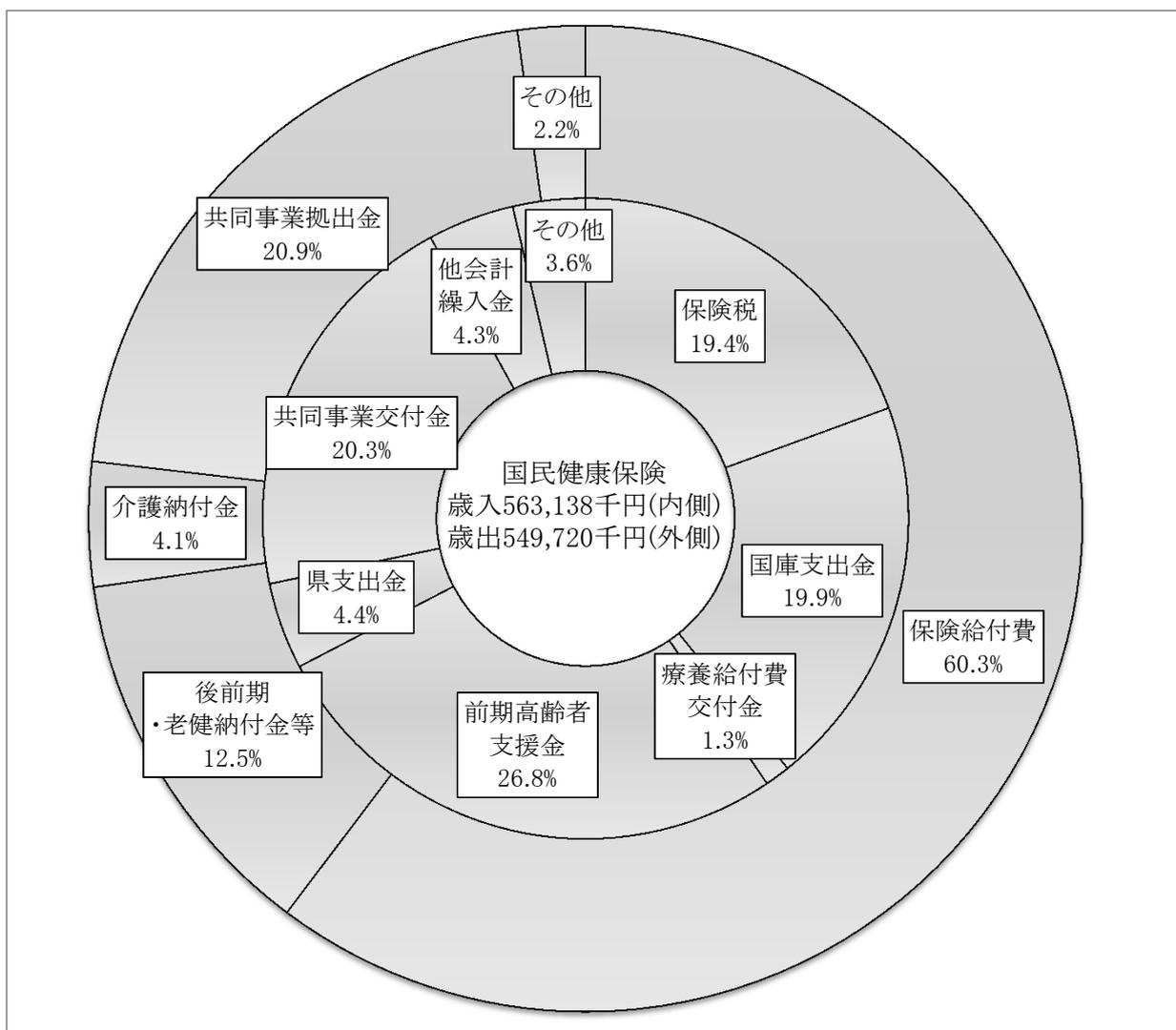
歳入

科目	金額	構成比
1 国民健康保険税	109,170	19.4
5 国庫支出金	111,840	19.9
6 療養給付費交付金	7,123	1.3
7 前期高齢者支援金	151,032	26.8
8 県支出金	24,599	4.4
10 共同事業交付金	114,508	20.3
13 他会計繰入金	24,435	4.3
その他	20,431	3.6
財産、繰越金、諸収入		
計	563,138	100.0

歳出

(単位:千円・%)

科目	金額	構成比
2 保険給付費	331,284	60.3
3 後前期高齢、老健納付	68,659	12.5
4 介護納付金	22,571	4.1
5 共同事業拠出金	115,135	20.9
その他	12,071	2.2
総務、保健、基金、公債、諸支出		
計	549,720	100.0



歳入決算総額は56,314万円、前年度比149万円、0.3%の増額決算となりました。

歳出決算総額は54,972万円、前年度比822万円、1.5%の増額決算となりました。

増額の主な理由は、平成30年4月からの国保制度改正に伴うシステム改修等の準備事業費として、歳入では国庫補助金の特別財政調整交付金・その他補助金が前年度比368万円、111.5%の増額、歳出では総務費の一般管理費が前年度比417万円、374.6%の増額となりました。又、歳出の保険給付費では前年度比914万円、2.8%の増額となり、歳出全体の60.3%を占めています。

平成29年度 介護保険事業特別会計決算

歳入総額	600,935	千円
歳出総額	590,044	千円
差引額	10,891	千円

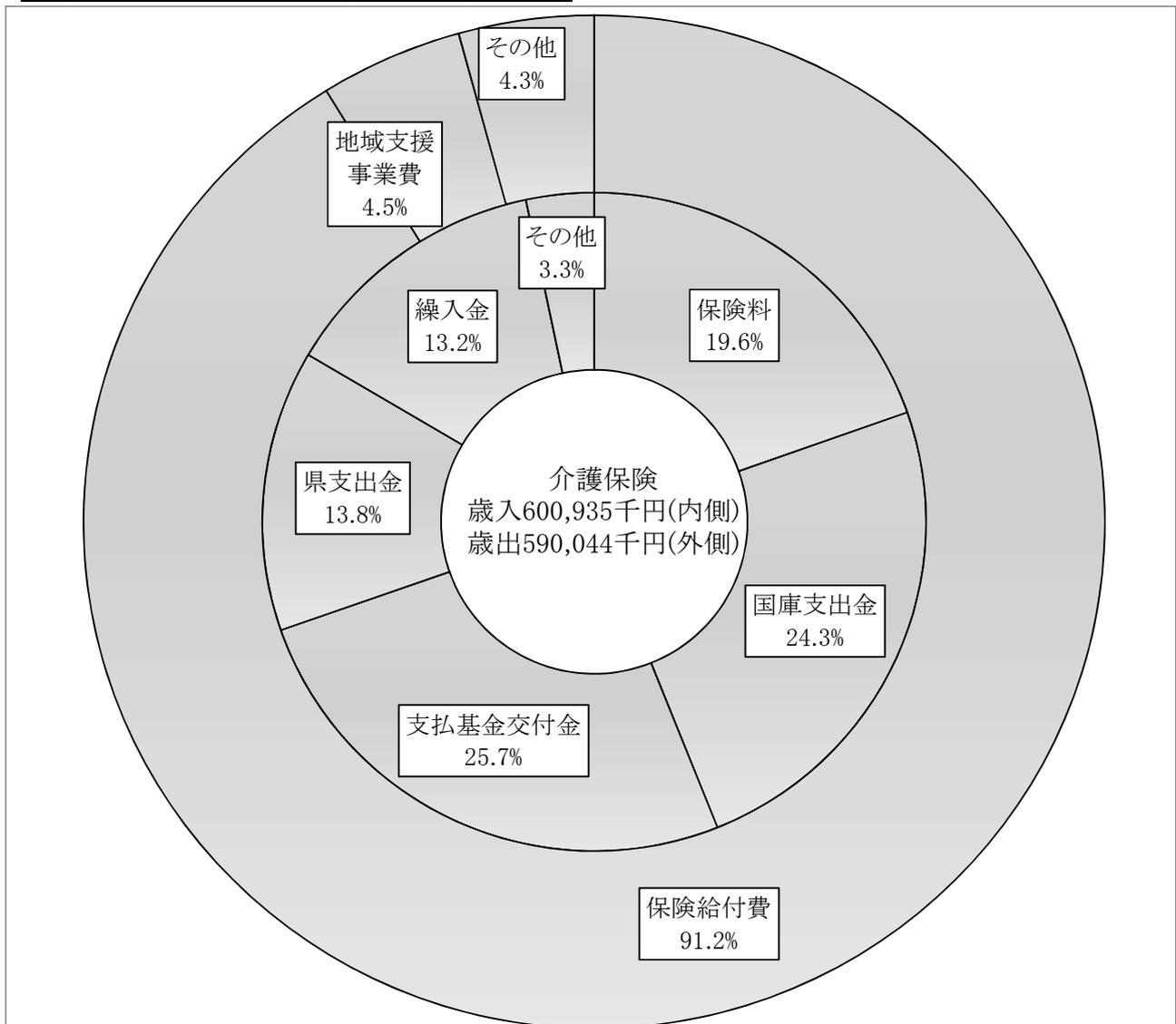
歳入

科目	金額	構成比
1 介護保険料	117,802	19.6
4 国庫支出金	146,277	24.3
5 支払基金交付金	154,562	25.7
6 県支出金	82,943	13.8
9 繰入金	79,484	13.2
その他	19,867	3.3
財産、繰越金、諸収入		
計	600,935	100.0

歳出

(単位:千円・%)

科目	金額	構成比
2 保険給付費	538,169	91.2
5 地域支援事業費	26,642	4.5
その他	25,233	4.3
総務、基金、公債、諸支出		
計	590,044	100.0



歳入決算総額は60,094万円、前年度比221万円、0.4%の増額決算となりました。

歳出決算総額は59,004万円、前年度比930万円、1.6%の増額決算となりました。

増額の主な理由としては、平成29年度から「介護予防日常生活支援総合事業」が始まり、地域支援事業費が増加し、前年度比1,026万円、62.6%の増額となりました。内訳は介護予防事業費881万円、包括的支援事業・任意事業費が145万円のそれぞれ増となっています。一方、保健給付費は見込みより減少し、支払準備基金へ200万円を積立しました。

平成29年度 後期高齢者医療特別会計決算

歳入総額	52,030	千円
歳出総額	51,862	千円
差引額	168	千円

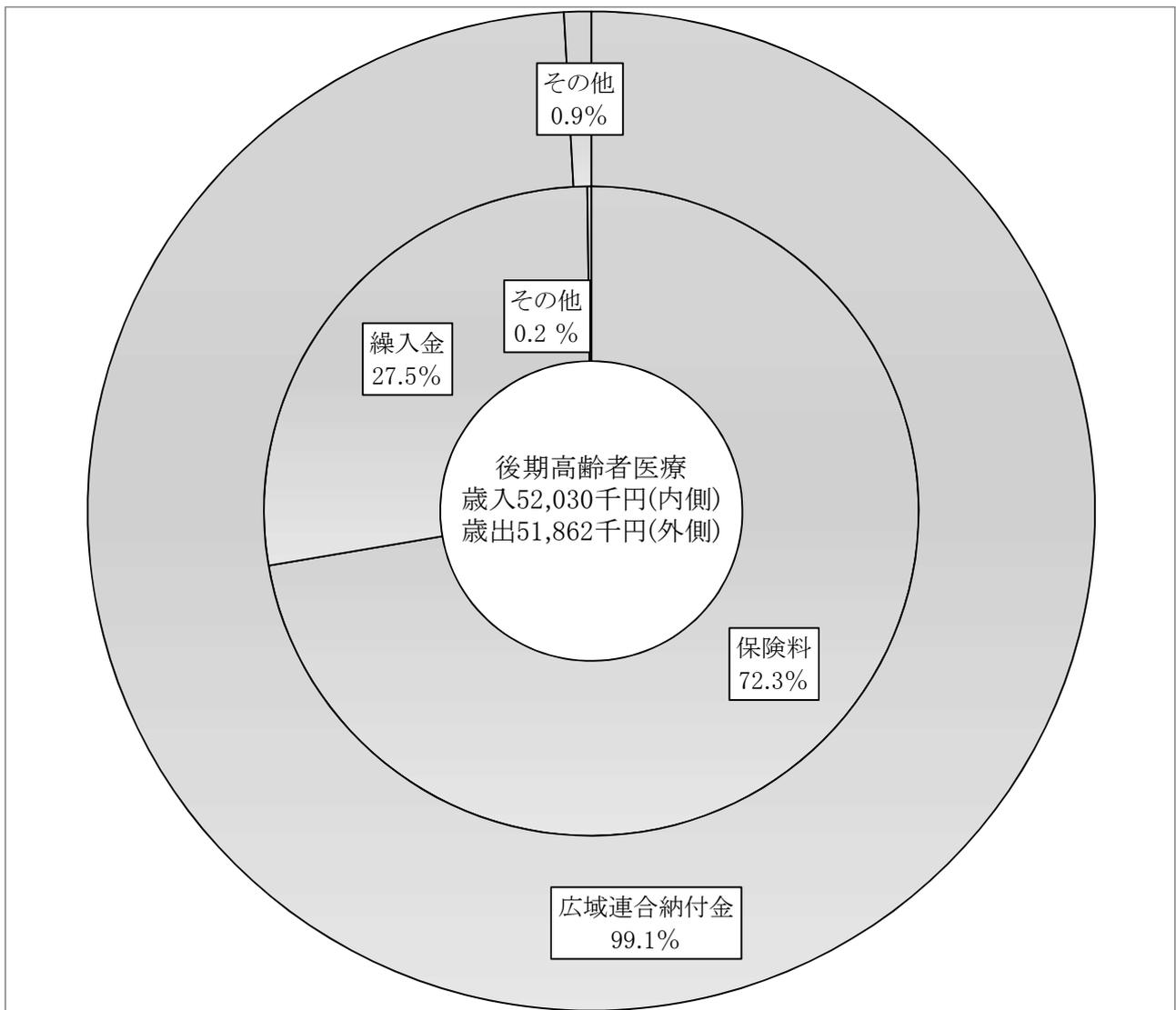
歳入

科目	金額	構成比
1 後期高齢者医療保険料	37,624	72.3
4 繰入金	14,306	27.5
その他	100	0.2
繰越金、諸収入		
計	52,030	100.0

歳出

(単位:千円・%)

科目	金額	構成比
2 後期高齢者医療広域連合納付金	51,411	99.1
その他	451	0.9
総務費、諸支出金		
計	51,862	100.0



歳入決算総額は5,203万円、前年度比215万円、4.3%の増額決算となりました。
 歳出決算総額は5,186万円、前年度比205万円、4.1%の増額決算となりました。
 保険料及び基盤安定分の広域連合納付金が5,141万円、前年度比204万円、4.1%の増額となっています。

平成29年度 公共下水道事業特別会計決算

歳入総額	187,631	千円
歳出総額	186,180	千円
差引額	1,451	千円

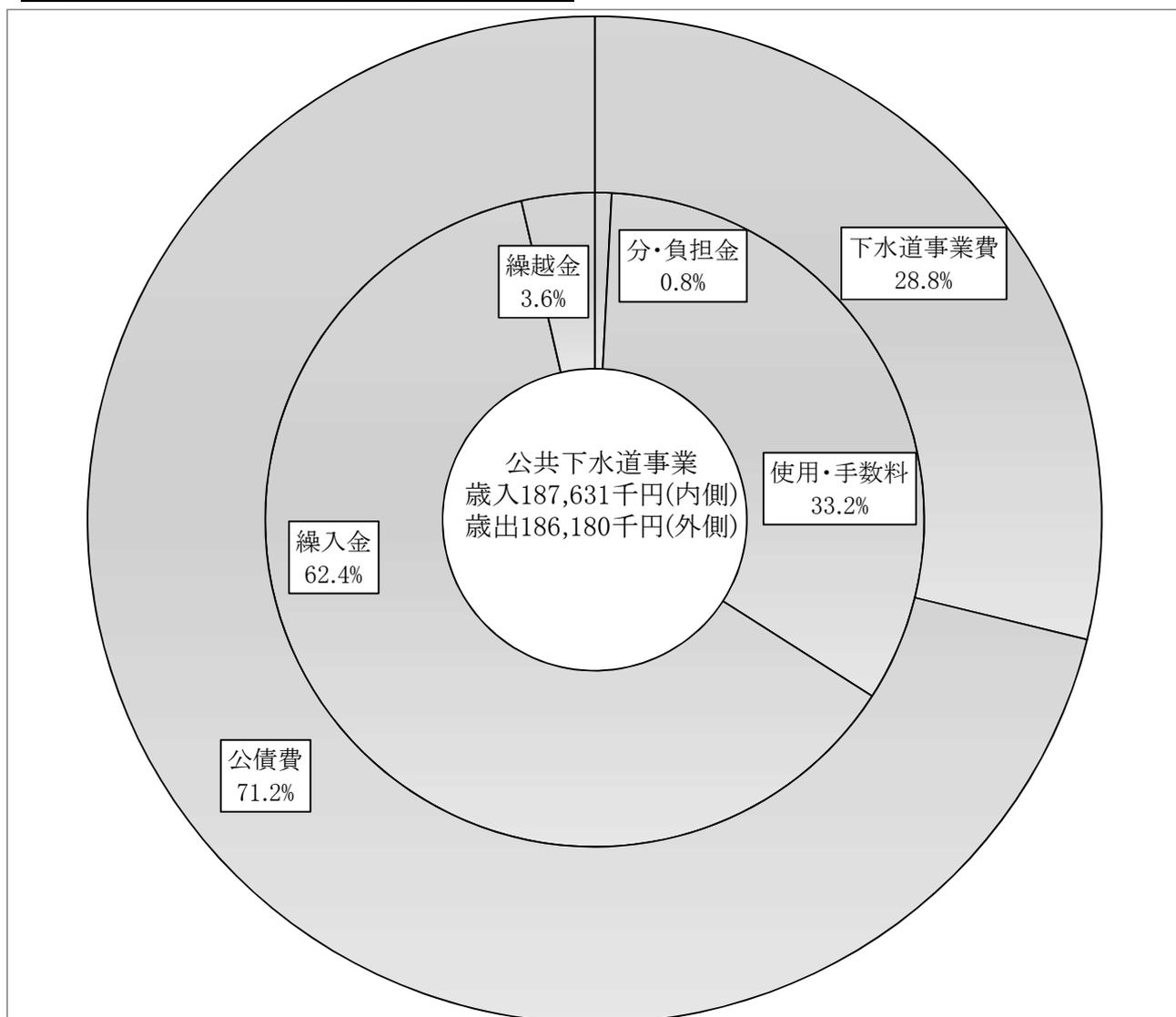
歳入

科目	金額	構成比
1 分担金及び負担金	1,550	0.8
2 使用料及び手数料	62,364	33.2
7 繰入金	117,000	62.4
8 繰越金	6,717	3.6
9 諸収入	0	0.0
計	187,631	100.0

歳出

(単位:千円・%)

科目	金額	構成比
1 下水道事業費	53,677	28.8
2 公債費	132,503	71.2
計	186,180	100.0



歳入決算総額は1億8,763万円で、前年度比1,455万円、7.2%の減額決算となりました。
 一般会計からの繰入金が1億1,700万円と大きな割合を占めています。
 歳出決算総額は1億8,618万円、前年度比929万円、4.8%の減額決算となりました。
 維持管理主体の事業構成ですが、建設当時の借入金にかかる公債費が、徐々に減っていますが、大きな割合を占めています。
 水洗化率は91.8%と、前年度に比べ1.0ポイント伸びています。

平成29年度 農業集落排水事業特別会計決算

歳入総額	130,335	千円
歳出総額	128,840	千円
差引額	1,495	千円

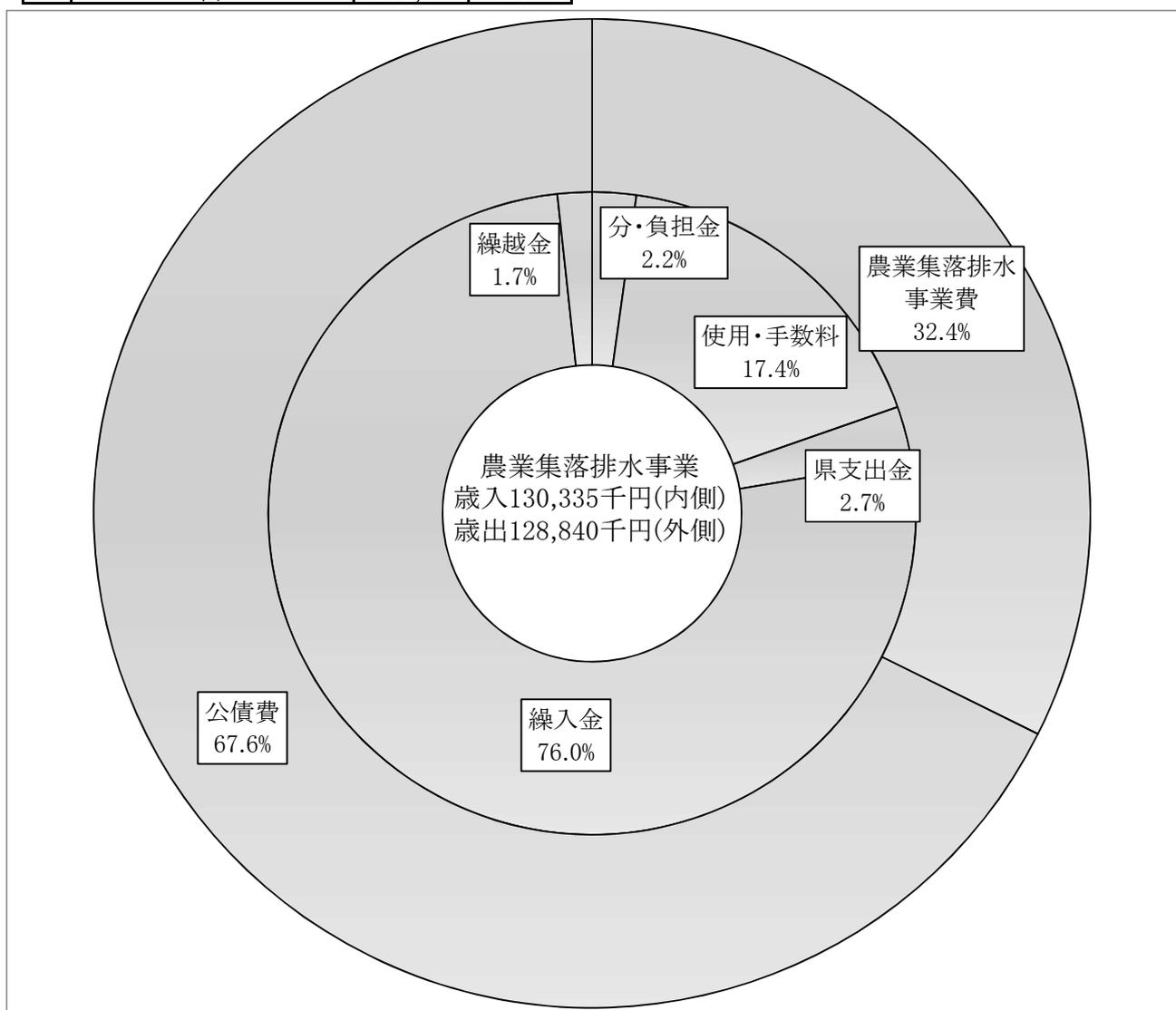
歳入

科目	金額	構成比
1 分担金及び負担金	2,800	2.2
2 使用料及び手数料	22,727	17.4
4 県支出金	3,564	2.7
7 繰入金	99,000	76.0
8 繰越金	2,244	1.7
9 諸収入	0	0.0
計	130,335	100.0

歳出

(単位:千円・%)

科目	金額	構成比
1 農業集落排水事業費	41,700	32.4
2 公債費	87,140	67.6
計	128,840	100.0



歳入決算総額は1億3,034万円で、前年度比809万円、6.6%の増額決算となりました。一般会計からの繰入金が9,900万円と大きな割合を占めています。歳出決算総額は1億2,884万円、前年度比880万円、7.3%の増額決算となりました。維持管理主体の事業構成ですが、建設当時の借入金にかかる公債費が、徐々に減っていますが、大きな割合を占めています。水洗化率は90.6%と、前年度に比べ1.4ポイント伸びています。